

## 研修プログラム概要

研修期間	6 年間
研修病院（代表病院）	金沢大学附属病院
研修協力病院（パートナー病院）	公立宇出津総合病院、浅ノ川総合病院
研修協力薬局（パートナー薬局）	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	3ヶ月以上	主に1年目（4-6月）、以降継続	金沢大学附属病院	患者情報や検査データを基に、薬物治療の有効性・安全性の評価を行う能力を培う
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	2週間以上	主に1年目（4-6月）	金沢大学附属病院	医薬品の在庫管理に加え、麻薬、向精神薬、覚醒剤原料、毒劇薬等の特別な管理を求められる医薬品に関する法的理解とその実践能力を培う
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	2週間以上	主に2年目（7-9月）	金沢大学附属病院	医薬品情報の収集、整理、保管及び専門的評価と加工を行い情報提供スキルを修得するとともに、副作用報告や採用要否の検討の実践能力を培う
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	2年間以上	1年目（7月）以降継続	金沢大学附属病院	薬物治療に関する問題点の抽出、服薬計画の立案、入院患者へ服薬指導等を通して薬学的知見に基づく積極的な介入や提案を実践するとともに、チーム医療に参加し、他職種との関わり方を学ぶ
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月程度	2年目（1-3月）	浅ノ川総合病院	在宅医療や介護に関する各種支援制度や地域包括ケアシステムにおける他職種の役割を学ぶとともに、薬剤師としての役割を果たす
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	通年	金沢大学附属病院 公立宇出津総合病院	医薬品の安全管理体制の確保のため、薬剤師として主体的な役割を果たす
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	通年	金沢大学附属病院 公立宇出津総合病院	感染症を発生させない環境整備や感染予防を実践するとともに、感染症発生時における感染拡大防止のための対応を図る
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	通年	金沢大学附属病院 公立宇出津総合病院 浅ノ川総合病院	病院と薬局との連携や地域の医師、看護師等との多職種連携等、地域連携の必要性を理解し、円滑なケア移行を実践する
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	2年間以上	2年目以降継続	金沢大学附属病院	適切な無菌の混合調製を理解し実践するスキルを修得する
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	1ヶ月以上	2年目以降継続	金沢大学附属病院	がん化学療法のレジメン管理や抗がん剤の調製、副作用や疼痛評価、支持療法薬の提案、投与計画への参画など基本的技能・知識を修得する
選択	(11) TDM	随時	2年目以降継続	金沢大学附属病院	血中濃度測定に関する基本的知識や手順を理解し実践するとともに、薬物特性と患者個々の状態に適した薬学的管理を理解し、投与設計・処方提案を行う
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人科・精神科の薬物治療等)	1年間程度	主に3年目	金沢大学附属病院	薬物動態の異なる小児・産婦人科の薬物治療、重篤度の高い ICU や問診が中心となる精神科の薬物治療など、困難度が高い薬物治療を理解する
選択	(13) その他 (手術室（周術期）)	1年間	2年目	金沢大学附属病院	周術期における薬剤管理業務を実践する
選択	(13) その他 (症例サマリ)	随時	随時	金沢大学附属病院	認定・専門薬剤師等の申請のための症例サマリを作成する（30症例程度）
選択	(13) その他 (臨床研究・学会発表)	随時	随時	金沢大学附属病院	臨床研究計画の立案・実施、学会発表を通して薬剤師として科学的思考力を修得する

補足事項 研修時期については、代表病院・パートナー病院での就業スケジュールにより変更